

平成29年5月31日

平成28年度
事業報告書

(平成28年4月1日～平成29年3月31日まで)

学校法人 明治東洋医学院

平成 28 年度 事業報告書

1. 法人の概要

(1) 建学の精神

本学は学校法人明治東洋医学院が母体となって 1978 年（昭和 53 年）、自然環境に恵まれた京都府中部の地に、わが国初の鍼灸短期大学（3 年制）として誕生した。そして、1983 年（昭和 58 年）には社会のニーズにこたえ、短期大学を 4 年制大学へと改組し、明治鍼灸大学として開学した。1987 年（昭和 62 年）には、鍼灸医学教育のための臨床実習施設として、医歯学部以外では日本初の大学附属病院を設置、現代医学との関わりをさらに深めていった。以来、鍼灸医学に関する高等教育研究機関として今日まで歩み続けている。また、わが国初の柔道整復に関する高等教育機関として 2002 年（平成 14 年）には明治鍼灸大学医療技術短期大学部柔道整復学科を開設、2004 年（平成 16 年）には、わが国唯一の学士（柔道整復学）教育を行う保健医療学部柔道整復学科を開設した。更に 2006 年（平成 18 年）には、これまでの教育研究基盤を活かし、看護学部看護学科を開設した。そのような本学における建学の精神は「和の精神」を真髄となし、東西両医学を有機的に関連づけて、社会および国民の医療に貢献できる真の医療人を育成することに他なく、「人と人との和・人と自然の調和・東洋と西洋の融和」を掲げ、これを成し遂げていく。

(2) 教育目標

①鍼灸学部 鍼灸学科

鍼灸医学に関する高度な専門知識と優れた治療技術ならびに西洋医学の必要な知識を教授研究し、鍼灸診療において適応と禁忌を適切に判断し、患者に適合した治療方針を立て、治療効果を客観的に記録・評価できる自立した鍼灸師を育成するとともに優れた指導的人材を養成する。あわせて、常に誠意をもって患者に接し、国民の健康に資する学術の向上に努め、信頼される医療人を育成する。

②保健医療学部 柔道整復学科

柔道整復学に関する高度な専門知識と優れた治療技術ならびに西洋医学の必要な知識を教授研究し、柔道整復施術において適応と禁忌を適切に判断し、患者に適合した治療方針を立て、治療効果を客観的に記録・評価できる自立した柔道整復師を育成するとともに優れた指導的人材を養成する。あわせて、常に誠意をもって患者に接し、国民の健康に資する学術の向上に努め、信頼される医療人を育成する。

③看護学部 看護学科

生命及び人間の尊厳を基盤に豊かな人間性を培うとともに、看護学に関する高度な専門知識・技術を教授研究し、さらに、東洋医学の理論と知識をとり入れることにより、より創造的で主体的な看護が実践できる力を養い、人々の健康・福祉の向上に貢献できる人材を育成する。

④大学院 鍼灸学研究科

鍼灸医学に関する学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥をきわめて、文化の進展に寄与することを目的とし、その目的に沿った、指導性ある優れた人材を養成する。修士課程（博士前期課程）は、鍼灸医学における研究能力又は鍼灸実務者あるいは指導者としての高度の能力を養う。博士課程（博士後期課程）は、鍼灸医学の研究者又は教育者として国際的にも自立できる能力、及びその基礎となる東西両医学をはじめとした幅広い豊かな学識を養う。

(3) 学校法人明治東洋医学院の沿革

大正 14 年	4 月	山崎直文氏により大阪アベノ橋に明治鍼灸学校を創立
昭和 05 年	4 月	大阪府知事の認可を受け大阪市天王寺区に明治鍼灸学校を開設
26 年	3 月	終戦後 明治鍼灸学校廃校
34 年	4 月	吹田市に明治鍼灸柔道整復専門学校を再建
41 年	10 月	進学校法人明治学院設立により 寄附行為認可を受ける。
42 年	6 月	明治学院を明治東洋医学院と改称
51 年	4 月	専修学校医療専門課程の設置認可を受ける。
53 年	2 月	進学校法人を学校法人に変更認可を受ける。(文部大臣)
53 年	4 月	明治鍼灸短期大学を開学
58 年	4 月	明治鍼灸大学を開学
62 年	8 月	明治鍼灸大学附属病院を開院
62 年	12 月	明治鍼灸短期大学廃止認可
平成 03 年	4 月	明治鍼灸大学大学院鍼灸学研究科（修士課程）開設
4 年	4 月	明治鍼灸柔道整復専門学校を明治東洋医学院専門学校に改称
5 年	4 月	明治東洋医学院専門学校 あ・は・き 教員養成科併設
6 年	4 月	明治鍼灸大学大学院鍼灸学研究科（博士後期課程）開設
14 年	4 月	明治鍼灸大学医療技術短期大学部 開学
16 年	4 月	明治鍼灸大学保健医療学部柔道整復学科 開設
18 年	4 月	明治鍼灸大学看護学部看護学科 開設
20 年	4 月	明治鍼灸大学を明治国際医療大学に改称
21 年	8 月	明治鍼灸大学医療技術短期大学部廃止認可
23 年	4 月	明治国際医療大学大学院鍼灸学研究科臨床鍼灸学専攻 修士課程 開設
23 年	4 月	明治国際医療大学大学院鍼灸学研究科鍼灸学専攻（通信教育課程）修士課程開設

(4) 設置する学校・学部・学科等

学校名	開設年月	学部・学科・課程等
明治国際医療大学 (旧名称：明治鍼灸大学)	昭和 58 年 4 月	鍼灸学部 鍼灸学科
	平成 16 年 4 月	保健医療学部 柔道整復学科
	平成 18 年 4 月	看護学部 看護学科
	平成 3 年 4 月	大学院鍼灸学研究科 (修士課程)
	平成 6 年 4 月	大学院鍼灸学研究科 (博士後期課程)
	平成 23 年 4 月	大学院鍼灸学研究科臨床鍼灸学専攻 修士課程
大学院鍼灸学研究科鍼灸学専攻 (通信教育課程) 修士課程		
明治東洋医学院 専門学校	昭和 34 年 4 月	鍼灸学科 (医療専門課程)、柔整学科 (医療専門課程)
	平成 5 年 4 月	教員養成学科 (医療専門課程)

(5) 学校・学部・学科等の学生数の状況 (平成 28 年 5 月 1 日現在)

①大学・大学院

(単位：人)

学校名	学部・研究科	学科・専攻	入学定員数	収容定員数	現員数	摘要
明治国際医療大学	鍼灸学部	鍼灸学科	50	260	169	編入生 4 人含む
	保健医療学部	柔道整復学科	40	200	146	編入生 1 人含む
	看護学部	看護学科	60	260	291	編入生 3 人含む
	大学院 鍼灸学研究科 (修士課程)	鍼灸学専攻	8	16	6	
		臨床鍼灸学専攻	8	16	12	
		鍼灸学専攻 (通信教育課程)	16	32	31	
大学院 鍼灸学研究科 (博士後期課程)	鍼灸学専攻	4	12	10		

②専門学校

(単位：人)

学校名	学科	入学定員数		収容定員数		現員数		摘要
		昼間部	夜間部	昼間部	夜間部	昼間部	夜間部	
明治東洋医学院 専門学校	鍼灸学科	90	30	330	150	177	39	
	柔整学科	90	30	240	150	143	45	
	教員養成学科	25		50		17		

(6) 役員・評議員・教職員の概要 (平成 28 年 5 月 1 日現在)

①役員

定員数 理事 11 名、監事 2 名

区分	氏名	常勤・非常勤の別	摘要
理事長	谷口和彦	常勤	平成 18 年 6 月理事就任 平成 26 年 6 月理事長就任 (明治東洋医学院専門学校長)
常務理事	岩井直躬	常勤	平成 23 年 6 月理事就任 平成 24 年 6 月常務理事就任 (大学担当) (明治国際医療大学学長)
常務理事	樋口敏宏	常勤	平成 26 年 6 月理事就任 平成 26 年 6 月常務理事就任
常務理事	藤井義巳	常勤	平成 26 年 6 月理事就任 平成 26 年 6 月常務理事就任 (財務担当)
理事	明石貴英	常勤	平成 2 年 5 月理事就任 平成 27 年 9 月常勤理事就任
理事	角谷英治	常勤	平成 26 年 6 月理事就任
理事	田中博	非常勤	平成 26 年 6 月理事就任
理事	佐々木稔納	非常勤	平成 20 年 12 月理事就任
理事	苗村建慈	常勤	平成 26 年 6 月理事就任
監事	中村泰三	常勤	平成 27 年 7 月監事就任 平成 27 年 9 月常勤監事就任
監事	小山謙司	非常勤	平成 27 年 7 月監事就任

前会計年度の決算承認に係る理事会開催日以降の退任役員

理事	中川雅夫	常勤	平成 12 年 5 月理事就任 平成 28 年 3 月理事退任
理事	都築英明	常勤	平成 26 年 6 月理事就任 平成 28 年 3 月理事退任

②評議員

定員数 25名

役 職	氏 名	主な現職等
評 議 員	谷 口 和 彦	学校法人 明治東洋医学院 理事長・学院長 明治東洋医学院専門学校 校長
評 議 員	岩 井 直 躬	明治国際医療大学 学長
評 議 員	山 岡 一 樹	学校法人 明治東洋医学院 法人事務局長
評 議 員	山 下 八 重 子	明治国際医療大学 看護学部長
評 議 員	岡 本 武 昌	明治国際医療大学 保健医療学部長
評 議 員	渡 邊 美 和	明治国際医療大学附属病院 看護部長
評 議 員	藤 井 義 巳	明治東洋医学院専門学校 学校事務局長
評 議 員	安 藤 文 紀	公益社団法人 全日本鍼灸学会 副会長
評 議 員	小 西 幹 夫	小西鍼灸接骨院 院長
評 議 員	明 石 貴 英	明石鍼灸院 院長
評 議 員	北 小 路 博 司	明治国際医療大学 鍼灸学部長 明治国際医療大学 附属鍼灸センター長
評 議 員	角 谷 英 治	明治国際医療大学 大学院研究科長 明治国際医療大学 鍼灸学部長補佐
評 議 員	福 井 淳 子	福井鍼灸整骨院 院長
評 議 員	山 本 淳	山本鍼灸整骨院 院長
評 議 員	佐 子 幸 男	佐子鍼灸整骨院 院長
評 議 員	得 本 誠	公益社団法人 大阪府鍼灸師会 会長 長寿庵 院長
評 議 員	三 澤 圭 吾	明治東洋医学院専門学校 柔整学科長
評 議 員	田 口 辰 樹	明治東洋医学院専門学校 教務部長
評 議 員	田 中 博	田中鍼灸治療所 院長
評 議 員	安 田 剛	公益社団法人 大阪府柔道整復師会 会長 安田鍼灸整骨院 院長
評 議 員	矢 野 忠	明治東洋医学院専門学校 教員養成学科長
評 議 員	今 西 二 郎	明治国際医療大学 附属統合医療センター長
評 議 員	吉 川 敏 一	京都府立医科大学 学長

③専任教職員

内 訳	専任教員数	専任職員数	備 考
法人本部		14	
明治国際医療大学	111	142	
明治東洋医学院専門学校	31	14	
総 計	142	170	
平均年齢	48.9	42.5	

(7) 協定校及び協定団体の状況

学校法人明治東洋医学院は、次の協定校及び協定団体と包括協定の締結を行っている。

【明治国際医療大学】

- ① 京都府立医科大学
- ② 関西医療大学（関西鍼灸系大学間連携）
- ③ 宝塚医療大学（関西鍼灸系大学間連携）
- ④ 森ノ宮医療大学（関西鍼灸系大学間連携）
- ⑤ The College of Acupuncture and Moxibustion of A. P. A. E. for Medical Doctors Only
（ポルトガル共和国 電気鍼協会大学校）
- ⑥ 南丹市
- ⑦ Sport Lisboa e Benfica（ポルトガル共和国 総合スポーツクラブ）
- ⑧ 特定非営利活動法人アムダ Association of Medical Doctors of Asia
- ⑨ 公益財団法人京都府立丹波自然運動公園協力会

【明治東洋医学院専門学校】

- ①吹田市
- ②大阪市

2. 事業の概要

大学・学校の教育機関を取り巻く環境は、18歳人口の減少と過剰な新增設に伴う大学間競争等により、志願者減少の厳しい状況が続く中、学院の健全な運営を図るため、中長期計画に基づいた事業の推進及び教職員の意識改善に取り組んだ。各事業の概要は以下のとおりである。

(1) 主な事業の目的・計画及びその進捗状況

【法人部門】

①人事政策

目標管理（職務記述書）による人事評価を昇給・賞与に反映するとともに、評価結果をフィードバックすることにより業務意欲の向上を図った。また、関西鍼灸系大学間連携によるSD・FD研修会を実施し、教職員の意識改革・職能開発に努めた。

②施設改修整備計画の推進

救急救命学科の開設に伴い、2号館（耐震工事含む）、6号館の改修工事を行った。また、私立学校施設整備費補助金を活用して、2号館・7号館の煙突内アスベストの封じ込め工事を行った。

【大学部門】

①保健医療学部 救急救命学科の設置

設置届出及び収容定員増の認可申請を6月に行い、8月末の救急救命学科設置認可をもって学生募集活動を開始した。なお、開設にあたり、都市型災害を想定した救助訓練塔及び実習用資器材や救急救命関連の図書を整備した。

②新たな研究科の検討

柔道整復学に係る研究科は、柔道整復学科の過去4年間の定員充足率の推移を踏まえ、ニーズ調査等による情報収集・分析を行い、具体化を図ることとした。また、看護学に係る研究科は、設置が認可申請事項となることから、教育研究体制の充実を図りつつ検討することとした。

③広報活動の強化

新設の救急救命学科広報に加え、オープンキャンパスの充実、高校訪問の強化など、計画的に広報活動を行った。また、高校校長経験者等を採用し、384校（延べ1,332回）に高校訪問を行い、認知度の向上及び志願者の増員を図った。

④スポーツ振興プロジェクトの推進

強化指定クラブのサポート体制強化のため、アスリートサポートセンターを5月に立ち上げ、年間延べ549名が利用した。また、スカラシップ生は、目標数40名に対し69名の入学者があった。

⑤教育課程の見直し

看護学科の新教育課程は、科目の開設時期等の変更及び初年次教育等の教養系科目の見直しを行った。また、鍼灸学科・柔道整復学科は、指定（認定）規則の一部改正に基づく新教育課程の検討を進めた。

⑥学生支援体制の強化

アドバイザー会議等で欠席が多い学生の情報共有を行い、退学者抑制に努めるとともに、基礎学力テストの結果に従い、対象学生を明確にして基礎学力向上の勉強会等を行った。

また、国家試験合格率向上を図るため、各学部の国家試験対策委員会のもと模擬試験等を積極的に行うとともに、国家試験の直前に短期集中型の指導を実施した。

⑦キャリア教育・就職支援体制の充実

キャリア教育・進路支援委員会を中心に、学生のニーズに合った進路支援に努めた結果、進路決定率100%となった。また、救急救命学科・看護学科は、教育課程にキャリア教育を組み込むとともに、鍼灸学科・柔道整復学科は、関西鍼灸系大学間連携による合同就職相談会の開催計画を進めた。

⑧外部資金の獲得強化

科学研究費補助事業等の外部資金の獲得強化に努めるとともに、受託研究及び大学間連携等による共同研究等の環境整備に取り組んだ。また、受託研究・共同研究等の実績から、私立大学等改革総合支援事業（タイプ 3「産業界・他大学等との連携」）に採択された。

【外部研究資金の採択状況】

- ア. 科学研究補助事業費 5 件
- イ. 私立大学等教育研究活性化設備整備費補助金 1 件
- ウ. 受託研究 2 件
- エ. 奨学寄附金 4 件
- オ. その他外部資金 3 件

⑨地域連携の推進

地域の発展・課題対策等に係る南丹市との連携協力会議を年 2 回開催するとともに、地域住民に対する医療・健康等に関する公開講座を年 30 回開催した。また、京都トレーニングセンターに対して、コンディショニング、ボディケア等に係る実技指導及び講習会等の運営協力を行った。

⑩国際交流の推進

学生の海外短期語学研修の実施に向けて、ハワイ大学カピオラニ・コミュニティカレッジとの連携を行った。

【医療センター部門】

①附属病院の入院患者の増加対策

南丹病院等の近隣医療機関、はぎの里等の介護施設及び第二赤十字病院等の京都市内の高度医療機関との連携体制を強化するとともに、附属ケアプランセンターを立ち上げ、入院から在宅までの切れ目無い医療提供体制の構築を図った。

②附属病院の外来患者の増加対策

時間外の急患受入やX線技師の当直対応など、時間外患者の確保に努めた。また、在宅診療は、在宅医療支援体制の構築に努めた結果、目標値を上回る成果があった。人間ドックは、閑散期に大口契約事業所に特別割引を行うなど受診者確保に努めた。

③院外薬局の設置

「ゆう薬局」を誘致し、院外へ調剤をシフトした。

④附属統合医療センター

軽度認知障害検査・遺伝子検査など、特殊検査の専門外来の充実を図った。

⑤附属鍼灸センター、京都駅前鍼灸院、京都桂川鍼灸院

治療所共通の電子カルテシステムを導入するとともに、医療ネットワークのリーフレットの作成及び

公開講座の開催、フィットネスクラブや地域包括支援センター等との連携によるイベントを開催した。

【学校部門】

①新学科の設置及び新規事業の実施に向けた検討

新学科の設置及び新規事業の検討、附属治療所や屋内フットサル施設等の改修計画の検討に努めた。また、「私立学校施設整備費補助金 エコキャンパス事業」の採択を得て、校舎内トイレの改修工事を実施した。

②組織的、戦略的な広報活動の実施

法人広報推進運営会議を毎月 1 回実施し、大学との連携、情報共有に努め、高校訪問において効率的かつ戦略的に情報収集を行うとともに、ホームページのリニューアルを図った。

③オープンキャンパス・宣伝活動の強化

オープンキャンパスの見直し、ターゲットに合わせたプログラムの導入等により、参加者の受験率は昨年より上回った。また、高校生にターゲットを絞ったツールの作成・情報発信と並行して、新たにシニア向けのリーフレットを作成するなど、明確にターゲットを絞ったアプローチが可能なツールにより、来校増員を図った。

④星槎大学（通信教育課程）との連携による学士の取得

星槎大学と今後の教育活動の向上及び教職員の共通理解を目的にFD研修会を開催した。

平成 30 年度の新教育課程の編成と並行して、4 年次編入による学士取得の履修モデルの検討を進めた。

⑤高校訪問及びOB治療所訪問の強化

アドミッションアドバイザーによる高校訪問時の現況を情報共有した。

また、教員が治療所訪問（約 630 件）を行った結果、OB治療所の把握及び卒業生の紹介による受験者増に繋がった。

⑥教育内容の更なる充実

授業評価アンケートを行うとともに、学外有識者を交えた教育課程編成委員会及び学校関係者評価委員会を開催し、教育課程の自己点検・自己評価を行った。また、教育委員会や学科別教員会議において、学生の学習理解、科目修得率の向上策について議論を重ね、期末試験問題の学生返却を試行的に行い、平成 29 年度から本格実施することとした。

また、平成 30 年の鍼灸師、柔道整復師の資質向上に向けた法改正に対応するとともに、幅広い学生層のニーズを考慮した学科コース、教育課程改編と授業料の見える化の検討を進めた。

なお、国家試験の合格率向上を重点課題とし、模試結果等の分析に基づくフォローアップに取り組んだ結果、鍼灸学科、柔整学科とも全国平均を超える成果を得た。

⑦学生支援体制の強化

学科、クラスアドバイザー及び事務局が連携し、学業不振者へのフォローアップ授業を行い、留年・

中途退学者の抑制に努めた。また、学生満足度調査を実施する他、クラスアドバイザー制の活性化を図り、学生生活における相談など学生目線での幅広い支援に努めた。

⑧FD・SD活動の促進と教職員の意識改革

「職業実践専門課程」の認定の取り組みの一環として、定期的にFD研修会を実施し、学生の動態や問題点等の情報共有を行い、学生のニーズに対応した教育に努めた。また、管理職による「意見交換会」を実施し、平成 30 年度の教育課程改訂に伴う問題点等の共有、教職員の意識改革、学生サービスの向上に努めた。

⑨卒業生との連携の強化と就職支援の充実

8月に在校生を対象とした就職相談会を開催した。

また、同窓会活動については、専門臨床研修会の実施回数の拡充を図り、定期的なスキルアップセミナーを開催することで、卒業生と在校生との連携に努めた。

⑩地域連携の推進

地域との連携を図り、信頼される専門学校を目指し、地域住民への健康管理や東洋医学の啓発などのために、吹田市及び大阪市と「津波災害又は水害時における緊急一時避難施設としての使用に関する協定」の締結や、「吹田ボランティアフェスティバル 2016」での啓発活動に参加するなど、地域に根付いた学校の存在をアピールした。

(2) 施設等の状況

①現有施設設備の所在地等の説明

主な施設設備の状況は次のとおりである。

(平成 29 年 3 月 31 日現在)

所在地	施設等	面積等	取得価額	帳簿価額
明治国際医療大学 キャンパス (京都府南丹市)	校地	178,155 m ²	1,373,920 千円	1,373,920 千円
	校舎	18,702 m ²	4,134,325 千円	2,445,870 千円
	附属病院	11,066 m ²	3,097,585 千円	994,148 千円
	その他 附属施設	8,862 m ²	2,810,496 千円	1,343,582 千円
明治東洋医学院 専門学校キャンパス (大阪府吹田市)	校地	9,545 m ²	1,878,157 千円	1,878,157 千円
	校舎	6,535 m ²	2,367,060 千円	994,766 千円
	その他 附属施設	3,003 m ²	456,577 千円	284,922 千円
京都桂川鍼灸院	附属治療所	72.80 m ²	賃貸	賃貸
京都駅前鍼灸院	附属治療所	123.93 m ²	賃貸	賃貸

3. 財務の概要

①資金収支計算書

収入の部

(単位 千円)

科 目	平成 2 8 年度	平成 2 7 年度	増 減
学生生徒等納付金収入	1,660,915	1,673,923	△13,008
手数料収入	14,827	12,985	1,842
寄付金収入	4,223	40,737	△36,514
補助金収入	466,277	331,434	134,843
資産売却収入	633,052	1,825,000	△1,191,948
付随事業・収益事業収入	157,691	148,400	9,291
医療収入	1,525,824	1,754,044	△228,220
受取利息・配当金収入	54,161	50,974	3,187
雑収入	211,759	132,658	79,101
借入金等収入	600,000	0	600,000
前受金収入	408,376	396,457	11,919
その他の収入	672,909	756,852	△83,943
資金収入調整勘定	△892,334	△739,731	△152,603
前年度繰越支払資金	3,102,091	2,479,437	622,654
収入の部合計	8,409,875	8,863,174	△453,299

支出の部

科 目	平成 2 8 年度	平成 2 7 年度	増 減
人件費支出	2,506,046	2,427,903	78,143
教育研究経費支出	1,566,601	1,606,426	△39,825
管理経費支出	208,586	221,867	△13,281
借入金等利息支出	12	439	△427
借入金等返済支出	0	60,000	△60,000
施設関係支出	849,065	98,469	750,596
設備関係支出	196,169	76,002	120,167
資産運用支出	835,469	1,140,533	△305,064
その他の支出	424,463	393,023	△31,440
資金支出調整勘定	△367,545	△263,582	△103,963
次年度繰越支払資金	2,400,906	3,102,091	△701,185
支出の部合計	8,619,775	8,863,174	△243,399

(注) 金額は千円未満を切り捨てしているため、合計など数値が計算上一致しない場合がある。

なお、以下の表についても同様である。

②事業活動収支計算書（消費収支計算書）

		科 目	平成 2 8 年度	平成 2 7 年度	増 減
教育活動収支	収入	学生生徒等納付金	1,660,915	1,673,924	△13,009
		手数料	14,827	12,985	1,842
		寄付金	4,223	40,737	△36,514
		経常費等補助金	366,285	316,497	49,788
		付随事業収入	127,393	114,191	13,202
		医療収入	1,525,824	1,754,045	△228,221
		雑収入	208,481	131,497	76,984
		教育活動収入計	3,907,950	4,043,875	△135,925
		支出	人件費	2,503,936	2,452,133
	教育研究経費		1,904,385	1,994,643	△90,258
	教育研究経費		1,048,426	953,407	95,019
	(うち減価償却額)		244,686	299,567	△54,881
	医療経費		855,958	1,041,236	△185,278
	(うち減価償却費)		86,453	89,379	△2,926
	管理経費		228,927	250,585	△21,658
	(うち減価償却額)		21,448	29,456	△8,008
	徴収不能額等		276	1,672	△1,396
	教育活動支出計		4,637,526	4,699,034	△61,508
	教育活動収支差額		△729,576	△697,813	△31,763
教育外活動収支	収入	受取利息・配当金	54,161	50,974	3,187
		その他の受取利息・配当金	54,161	50,974	3,187
		その他の教育活動外収入	31,104	34,210	△3,106
		収益事業収入	30,297	34,210	△3,913
		教育活動外収入計	85,265	85,184	81
	支出	借入金等利息	12	439	△427
		その他の教育活動外支出	117	0	117
		教育活動外支出計	130	503	△373
教育活動外収支差額		85,135	201,186	△116,051	
経常収支差額		△644,440	△496,627	△147,813	
特別収支	収入	資産売却差額	15,593	0	15,593
		その他の特別収入	107,551	22,746	84,805
		特別収入計	123,144	22,746	100,398
	支出	資産処分差額	21,772	11,048	10,724
		その他の特別支出	2,807	3,417	△610
		特別支出計	24,580	14,466	10,114
特別収支差額		98,564	△5,642	104,206	

基本金組入前当年度収支差額	△545,876	△562,196	16,320
基本金組入額合計	△96,437	△240,708	144,271
当年度収支差額	△642,313	△802,904	160,591
前年度繰越収支差額	△6,979,601	△6,176,697	△802,904
基本金取崩額	32,000	0	32,000
翌年度繰越収支差額	△7,589,914	△6,979,601	△610,313

(参考)

事業活動収入計	4,116,361	4,151,806	△35,445
事業活動支出計	4,662,237	4,714,002	△51,765

③貸借対照表

資 産 の 部

(単位 千円)

科 目	平成 2 8 年度	平成 2 7 年度	増 減
固 定 資 産	13,944,978	13,169,831	775,147
流 動 資 産	3,077,819	3,632,344	△554,525
資 産 の 部 合 計	17,022,798	16,802,175	220,623

負 債 の 部

科 目	平成 2 8 年度	平成 2 7 年度	増 減
固 定 負 債	1,551,346	1,274,474	276,872
流 動 負 債	1,267,923	778,296	489,627
負 債 の 部 合 計	2,819,270	2,052,771	766,499
第 1 号 基 本 金	21,448,442	21,352,005	96,437
第 4 号 基 本 金	345,000	337,000	8,000
翌年度繰越消費支出超過額	△7,589,914	△6,979,601	△610,313
純 資 産 の 部 合 計	14,203,528	14,749,404	△545,876
負債の部及び純資産の部合計	17,022,798	16,802,175	220,623